			③　運営費交付金収益化の積算根拠 原則として経費の実績額を収益化しておりますが、一般管理費のうち、その他の管理諸費につきましては、有価証券の運用益及び雑益により財源充当し、不足分につきまして、運営費交付金を財源として収益化しております。
会計基準第81第３項による振替額		0	
合　　計		552,838,091	

③　平成22年度交付分

（単位：円）

区分		金額	内訳
業務達成基準による振替額	運営費交付金収益	105,652,000	①　業務達成基準を採用した業務 【労苦継承事業費】 ＜資料保管経費＞ 電子データ化経費 ＜資料展示経費＞ 電子データ化経費 平和祈念展示資料館経費 資料館維持管理経費、資料館パンフレット等作成経費、資料館備品等経費 ＜記録の作成・頒布経費＞ 出版物等作成経費 ＜講演会等実施経費＞ ＜語り部育成・派遣経費＞ ＜催し物への助成経費＞ ＜その他＞ 労苦継承事業費における各業務にかかる共通経費 【事務・事業引継準備経費】 ＜事務・事業引継準備業費＞ ②　当該業務に関する損益等 ア）損益計算書に計上した費用の額：34,979,038 【労苦継承事業費】 （賃借料：1,062,432、消耗品費：318,990、保守・修繕費：750,377、印刷製本費：997,972、通信運搬費：366,891、業務外注費：932,022、助成費：27,633,851、謝金：990,000） 【事務・事業引継準備経費】 （賃借料：75,600、消耗品：23,100、通信運搬費：3,150、業務外注費：1,824,653） イ）自己収入に係る収益計上額：該当ありません。 ③　運営費交付金収益化額の積算根拠 中期計画の予定どおりに業務が進行したものにつきましては、当該業務に充てられる運営費交付金の計画額の全額を収益化し、一部予定どおり業務が進行しなかったものにつきましては、進捗度を収益化しております。
	たな卸資産見返運営費交付金	0	
	資産見返運営費交付金	0	
	資本剰余金	0	
	計	105,652,000	
期間進行基準による振替額	運営費交付金収益	98,619,900	①　期間進行基準を採用した業務 【労苦継承事業費】 ＜資料収集経費＞　　資料・図書等購入費 ＜資料保管経費＞　　保管倉庫賃借料
	たな卸資産見返運営費交付金	0	
	資産見返運営費交付金	5,735,100	